

特別な水中華で平和を願う 雨引観音紫陽花プロジェクト

雨引山樂法寺（本木地区）で6月～7月の期間、境内を彩るあじさい祭りが開催され、7月3日には岩瀬日本大学高校ボランティア部の生徒7名による水中華づくり体験が行われました。

水中華は、あじさい祭りの期間中に境内に咲く紫陽花を池に浮かべるもので、市内外から多くの見物客が訪れるイベントです。今年もウクライナの国旗をイメージした配色で作られ、平和と復興への願いを込めた特別な水中華が表現されました。



真剣な表情で紫陽花を池に浮かべる生徒たち



水中華の見学を行ったコルスンスキー駐日大使（中央）と大塚市長（右）、川田興聖住職（左）

生徒たちは、境内に咲く紫陽花の刈り取りや、池に入り紫陽花を浮かべる作業を体験し、鮮やかな花が浮かべられた池が完成しました。

また7月14日には、セルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ大使が同寺を訪れ、ウクライナ国旗をイメージした水中華を大塚市長をはじめ関係者と共に見学しました。

コルスンスキー駐日大使は「とても美しく感動した。ウクライナへの平和を願っていただき感謝します」と話していました。

安達勇人さんに

さくらがわ応援大使を委嘱

■問合先／秘書広報課（☎58-5111-75 / 3111代表）

7月21日、市役所大和庁舎で、さくらがわ応援大使の委嘱式が行われ、歌手や声優などとして活動する安達勇人さんが今回新たに大使に選ばれ、大塚市長から委嘱書が手渡されました。

さくらがわ応援大使は、市の魅力を広く全国に発信し、市の知名度向上およびイメージアップを図るために設置され現在6名に委嘱されています。

安達さんは、市内出身で、多くの映画やドラマ、音楽活動、声優などで活動されています。



大塚市長から委嘱書を受け取る安達さん（右）



さくらがわ応援大使としての抱負を語る安達さん

委嘱書を受け取った安達さんは「さくらがわ応援大使に選んでいただき、本当に嬉しいです。私は、地元である桜川市に恩返しをしたいと思っています。桜川市の魅力を全国に向けて発信して、全力で市を盛り上げていきたい」と意気込みを話してくれました。

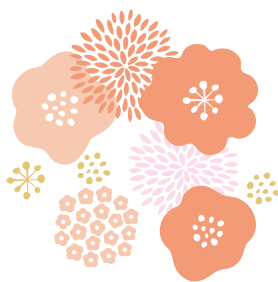
また、委嘱した大塚市長は「市民の皆さんと一緒に、市を盛り上げていきたい」と話していました。

安達大使の今後の活躍に期待ください。

寄付

寄贈

市の活性化や地域貢献に役立ててほしいと株式会社東華（任東華代表取締役社長）から40万円、株式会社筑波銀行（生田雅彦頭取）から10万円の寄付がありました。



市民の方から、子育て中の方や保育施設などで役立ててほしいと、紙おむつ8袋、おしりふき2ケースの寄贈がありました。



寄贈された紙おむつとおしりふき

寄付

寄贈